



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.75
2016年 10月号

公益財団法人
School Aid Japan
〒144-0043
東京都大田区羽田 1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

販売会、講習会、イベント盛りだくさん!!

皆さんこんにちは。今年のカンボジアは例年に比べて雨が多く、国道が冠水してしまうほどの雨が降りました。

農場内も畑や道のぬかるみがひどく、トラックやトラクターがはまって動けなくなることが何度もありました。普段通っている道路も車をはまって動けなくなるため、常に注意しながら運転を心がけています。今月はポンペンの商業省が開催した販売会の様子、また地元農家さん向け講習会等について報告したいと思います。



収穫したレモングラス

◇農家さん向け講習会

今年から地元の農家さん2名にレモングラスを契約栽培してもらっています。7月の講習会で定植した苗が大きく育ってきたため、今回の講習会でそのうちの1名であるトオンさんの畑と一緒に収穫することにしました。トオンさんには約4aの畑2つ、合計8aの畑でレモングラスを栽培してもらっています。今回はそのうちの一つの畑を収穫しました。ご家族や近隣の方、農場のスタッフを含め10人で作業を行いました。初めての栽培で肥料が少なかったためか、1株あたりの収穫量が農場で栽培しているものに比べて少なく、200kgほどの収穫量を想定していましたが、結果は87.1kgでした。更に雑草や枯葉などを取り除くと70.4kgになりました。契約では乾燥してから買い取る形にしていますが、今年は雨が多いため乾燥が難しいというトオンさんの意向もあり、生のまま買い取ることにしました。今回は収穫量が少なく、レモングラスが生のままだったこと、買取金の半分は立替えていた苗代、肥料代として差し引いたため、あまり金額としては大きくなりませんでした。しかし、レモングラスは収穫後1ヶ月も経てば再び収穫ができ、株も太くなってきます。また、雨期の終わりが近いので乾燥して出荷できるようになれば収入の増加が見込めます。トオンさんがモデルになって契約栽培先が増え、地域に産業として根付かせることができれば地域の活性化につながるのではないかと思います。



買い取り代金をトオンさん(農家さん)にお渡しする



SAJFarm 販売ブース



会場全体の様子



蒸留前のコブミカンの葉

◇プノンペン商業省販売会

カンボジア有機認証協会 CorAA から 10 月 27～30 日の 4 日間開催される商業省主催の販売会に参加しないと連絡が届きました。場所はプノンペン市内にあるダイヤモンドアイランドで、興味があれば10\$の場所代で参加できるとの話でした。なかなかない機会なので早速参加を決め、農場で作っているレモングラス精油、レモングラスティー、オクラ、空芯菜を販売することにしました。会場には約 200 のブースが入り、カンボジア産のお米や胡椒、果物、コーヒーなどの食品や縫製関係、化粧品など様々なお店が出店していました。SAJFarm も他に負けじと販売を行い、4 日間で 200 \$ 以上を売り上げることができました。お客様はほとんどがカンボジア人の方で、精油が売れるかどうかが一番の課題でした。実際に香炉で焚いて宣伝すると興味を持ってくださり、いろいろ質問されましたが、若い方は小売価格では金額が高いと言う人が多く、購入されたのは年配の方や外国の女性の方がほとんどでした。今回は宣伝の意味もあったので値段交渉をしてきた方には卸値で販売したりもしました。野菜も現地の販売価格に比べれば高いものの、全て売り切ることができました。今回の販売が宣伝効果を発揮してリピーターが増えてくれればと思います。

◇コブミカン蒸留試験、試験栽培

SAJFarm ではこれまで販売用の精油の原料としてレモングラスだけを取り扱ってきました。販売先の開拓のためホテルへ営業したところ、カンボジアの方はレモングラス精油に含まれる藁のような匂いが苦手と言う話が出ました。一種類の精油だけでは販売に限界を感じ、農水省を訪問した際に担当の方に相談すると、カンボジアの方が好む匂いとしてコブミカンを紹介されました。コブミカンは実と葉両方とも市場で売られています。蒸留試験のため今回は葉を 5.3kg 購入。蒸留した結果 43ml の精油をとることができました。コブミカンの精油は虫除けや抗菌、リフレッシュ効果などがあるそうです。予想以上に精油が取れたので、今後農場で作付けしていく予定です。